

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	20歳未満でピロリ菌除菌治療を受けた方の除菌後胃癌発生率の調査 [倫理審査受付番号：第4892号]
研究責任者氏名	兵庫医科大学 奥田真珠美
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025年1月23日 ~ 2027年3月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。 疾患名：20歳未満でヘリコバクター・ピロリ除菌治療を受けた方で除菌治療後胃癌を発症された方 / 診療科名等：消化器内科・消化器外科など 受診日：西暦 2000年4月1日～研究実施許可日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ） 取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	胃癌の主な原因はピロリ菌です。成人ではピロリ菌を除菌治療しても胃癌発生を完全に抑制できないことがわかっています。しかし、若い方での除菌後胃癌発生率についての調査はなく、よくわかりません。私たちは胃癌に関連する学会の会員に調査を行い、20歳未満でピロリ除菌をした後の胃癌の有無、発生年齢、胃癌の肉眼像や組織像、治療や予後などを調査することで、若い方の除菌後フォローの仕方や治療を決めることが目的です。また、若い年齢で除菌治療をした方への除菌後対策に関する啓発になります。
研究の方法	胃癌を診療している、消化器内科や消化器外科の先生に調査票をお送りします。20歳未満でピロリ菌除菌治療を受けた方が後に除菌後胃癌発生した患者さんを診療したことがあるかどうかを調査し、患者さんがいた場合は詳しい情報（胃癌の発生年齢、除菌年齢、胃癌の肉眼像や組織像、遺伝学的検査、治療や予後など）をいただきます。情報をまとめて、除菌治療後の内視鏡検査の時期や胃癌が発生しやすい方を解析し、すでに報告がされている成人で除菌した方の除菌後胃癌と比較をします。

外部への試料・情報の提供	2000年4月1日～研究実施許可日までの間に20歳未満でヘリコバクター・ピロリ除菌治療を受けた方で除菌治療後胃がんを発症された方について、兵庫医科大学へカルテ情報の提供を受けて本研究を実施します。現在の年齢や生年月日、カルテ番号など個人が特定できる情報は一切いたしません。兵庫医科大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
研究組織	小児科学 奥田真珠美
個人情報の取扱い	個人が特定できる情報は一切いたしません。いただいた情報は国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、情報を保護します。
本研究に関する連絡先	診療科名等：小児科 担当者氏名：奥田真珠美 [電話]（平日 8:30～17:00）0798 - 45 - 6351